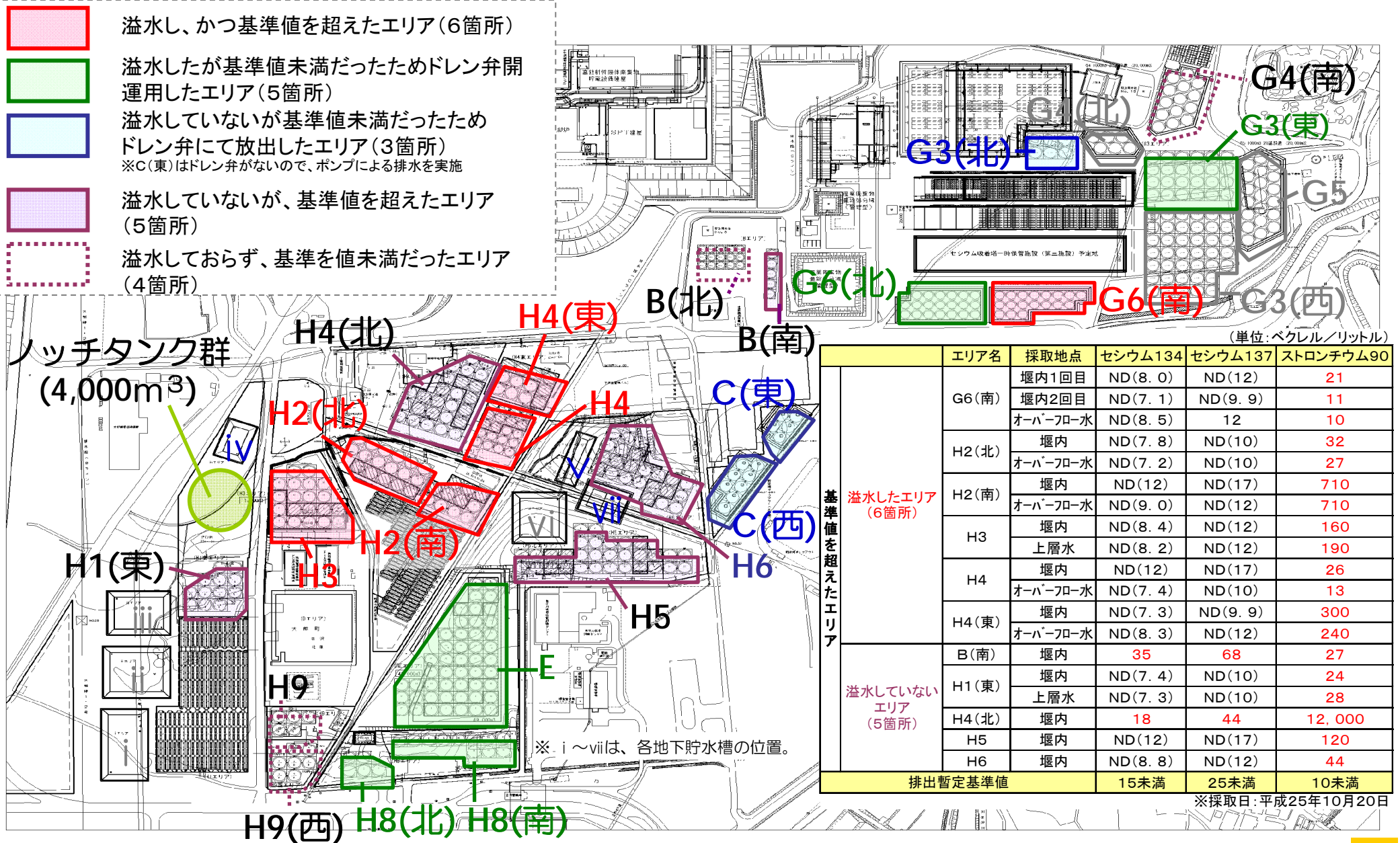


タンクエリアにおける雨水対策について

平成25年10月30日
東京電力株式会社

資料①

(1) 10月20日に発生したタンクエリア堰内水の溢水状況



(2) 台風27号到来(10月26・27日)に向けた強化策

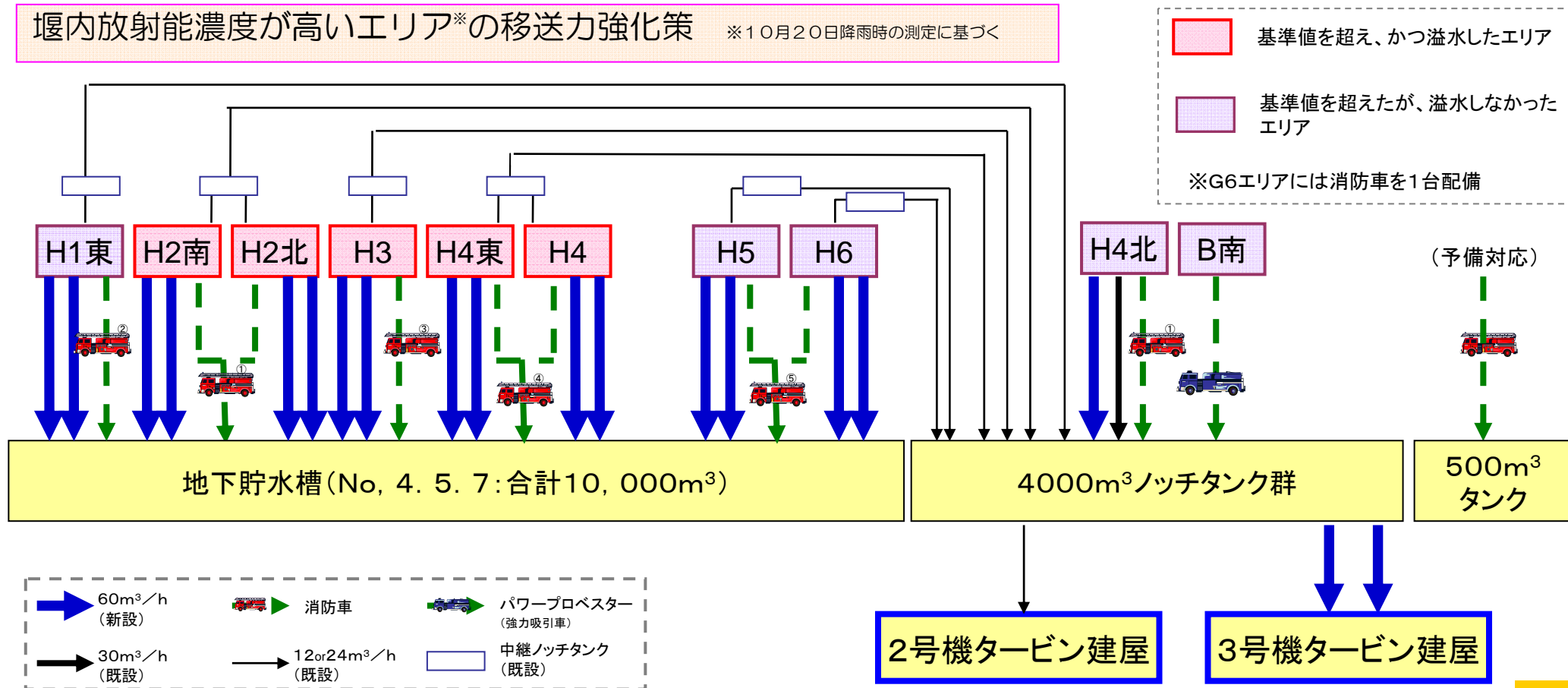
台風27号の到来に備え、放射能濃度の高いエリアから雨水が溢水しないようするための対策を強化しました。

※過去の降雨時に放射線濃度が低かったエリアについては、堰内から直接雨水を採取・分析の上、基準値未滿であれば直接排水する【暫定運用：10月24日原子力規制委員会了承】

溢水させないための強化策	保管容量の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○堰内の水位をあらかじめ低下 : 4,000m³ノッチタンク群・地下貯水槽へ移送 ○4,000m³ノッチタンク容量の確保 : ノッチタンク群の貯留水を2・3号タービン建屋に移送 ○雨水受けタンクの新設 : H2エリア・Gエリアに雨水受けタンクを設置(500m³級を2基)
	移送設備の増強	<ul style="list-style-type: none"> ○堰内放射能濃度の高いエリアの移送設備を増強 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ60m³/h×19台・ホース口径75mm(総延長6km)を新設 ・消防車6台を配備 ・パワープロベスター(強力吸引車)3台を追加配備(計6台)、タンクローリー3台を配備

堰内放射能濃度が高いエリア*の移送力強化策

※10月20日降雨時の測定に基づく



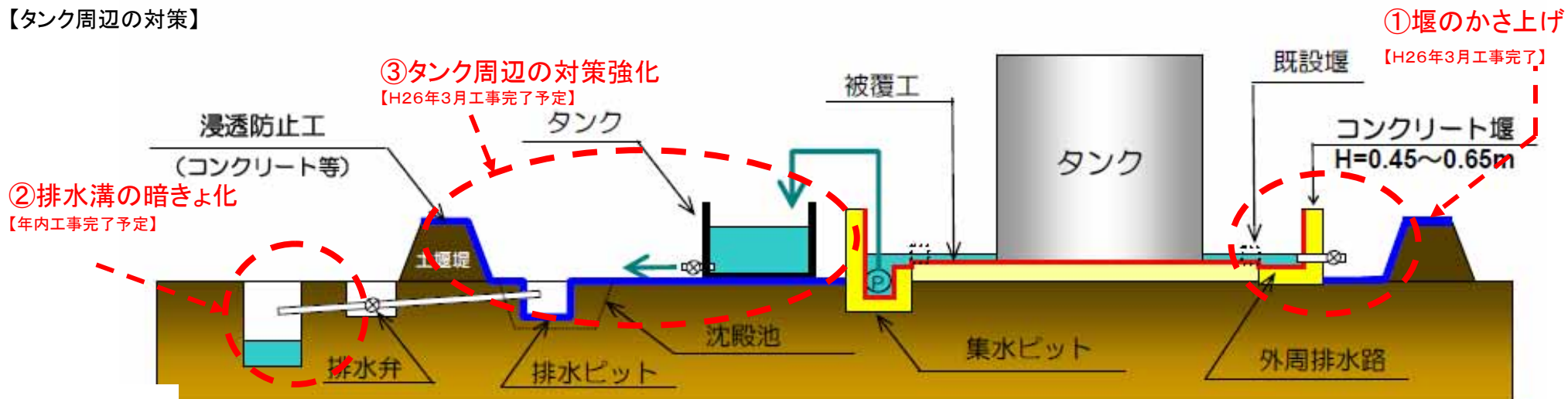
(3) 台風27号到来時の状況

対応状況結果概要

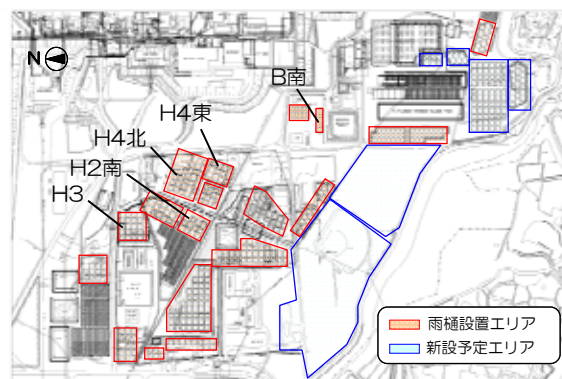
- 溢水したエリア: なし
- 基準値未満だったため、堰外へ排水した2エリア: G4南、G6北
- 地下貯水槽／ノッチタンク群に移送した10エリア(前回基準値を超えたエリア): B南、H1東、H2北、H2南、H3、H4北、H4、H4東、H5、H6

(4) 今後の対策(抜粋)

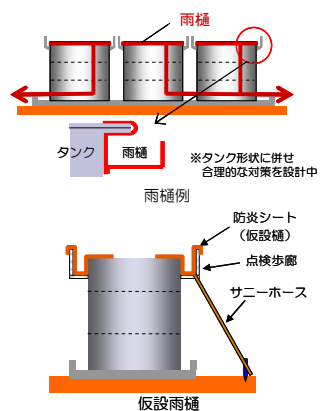
【タンク周辺の対策】



【タンク上部への雨どい設置】



- 雨どい設置により約60%の雨水流入を抑制
- H4北・東の一部に仮雨どい設置(10月末完了)
- H4北・東、H3、H2南、B南エリア(H25年12月末完了予定)
- その他エリアは順次実施(H25年度末完了予定)



【水位監視装置の設置】

- 遠隔での常時監視が可能な水位計を設置し、漏えい監視強化を図る。
- 本年10月9日現在で、H・Gエリア(1~4号機側)、Fエリア(5、6号機側)にある合計337基のボルト締め型タンクのうち、水位計の設置されていない282基のタンクに順次設置する。(H25年11月末完了予定)
- 今後設置するタンクについては、すべて水位計を設置する予定。

【排水路の流路変更】

- 排水路の港湾内へのバイパスを検討中。

【参考】タンクエリア周辺の調査状況

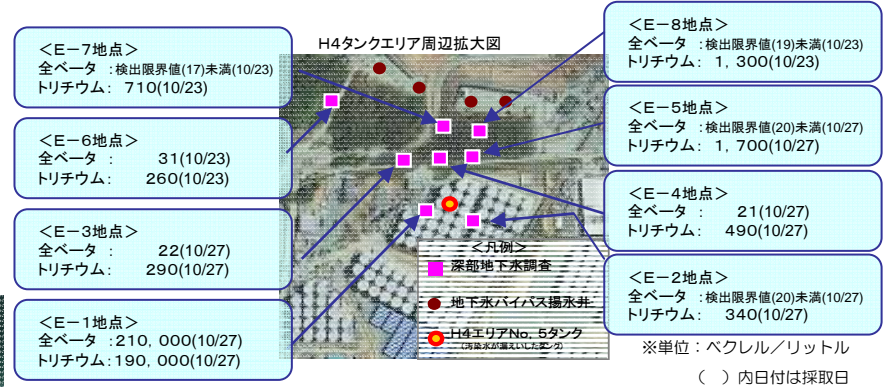
H4タンクエリアにある**ボルト締め型タンク**（NO. 5タンク）から**高濃度の汚染水が300トン漏えい**していることを確認しました（8月19日）。そのため、汚染水の拡散状況を広域的に把握するため**モニタリングの強化**を進めています。モニタリングの結果は当社ホームページ等で速やかにお知らせしてまいります。

タンクからの汚染水漏えい等の状況

【Bエリア(南)】

- ・台風18号近接に伴う降雨により、堰内にたまった水が溢水(9/15)
- ・A5タンクの天板と側板の間から漏えいが発生。堰外に約430リットル(暫定)の水が流出(10/2)と推定。C排水路に流れ、海へ流出している可能性が否定できない。

(1)H4タンクエリア周辺地下水の値



(2)地下水バイパス揚水井の値

揚水井	採取日	全ベータ	トリチウム
A系統	No.1	検出限界値(15)未満	14
	No.2	検出限界値(15)未満	13
	No.3	検出限界値(15)未満	検出限界値(5.4)未満
	No.4	検出限界値(15)未満	47
B系統	No.5	検出限界値(15)未満	21
	No.6	検出限界値(15)未満	140
	No.7	検出限界値(15)未満	390
	No.8	検出限界値(15)未満	50
	No.9	検出限界値(15)未満	62
	No.10	検出限界値(15)未満	260
C系統	No.11	検出限界値(15)未満	280
	No.12	検出限界値(15)未満	680

※法定告示濃度: 60,000ベクレル/リットル

※単位：ベクレル/リットル



(3)南放水口・排水路の値(抜粋)

- 南放水口付近海水
セシウム137: 3.9 (10/28)
全ベータ : 検出限界値(17)未満(10/28)
- C排水路35m盤出口
セシウム137: 検出限界値(27)未満(10/28)
全ベータ : 1,400(10/28)
- B-C排水路合流地点
セシウム137: 検出限界値(26)未満(10/28)
全ベータ : 1,300(10/28)
- B排水路内採取地点(B2)
セシウム137: 検出限界値(26)未満(10/28)
全ベータ : 31,000(10/28)

※単位：ベクレル/リットル () 内日付は採取日
B・C排水路の8箇所の地点にてモニタリングを実施しています。排水路の常時監視についても 準備を進めております。(11月末にモニタ設置予定)

【参考】タンクエリア堰内たまり水の暫定排水基準(10月15日公表)
以下の(1)~(5)を満たすこと
(1)セシウム134 :15ベクレル/リットル未満
(2)セシウム137 :25ベクレル/リットル未満
(3)その他γ核種が検出されていないこと(天然核種を除く)
(4)ストロンチウム90 :10ベクレル/リットル未満(簡易計測)
(5)タンク内の水質等を参考に、ほかの核種も含めて濃度基準を満たすこと
※なお、タンク内のトリチウム濃度は全ベータ濃度よりも2桁程度低い値です。